



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月14日

上場会社名 株式会社中央製作所
 コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼研究開発部長 (氏名) 柘植 良男
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 052-821-6166

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	3,786	20.4	106		126		98	
2018年3月期第3四半期	3,146	8.5	20		1		2	

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 23百万円 (51.9%) 2018年3月期第3四半期 49百万円 (108.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	127.73	
2018年3月期第3四半期	3.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	5,185	2,187	42.2
2018年3月期	5,252	2,183	41.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 2,187百万円 2018年3月期 2,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		25.00	25.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	13.4	230	115.2	250	95.4	200	83.8	258.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	784,300 株	2018年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	10,406 株	2018年3月期	10,285 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	773,955 株	2018年3月期3Q	774,338 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
3. その他	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善を背景に、雇用や個人所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移してまいりましたが、米中の通商政策に基づく貿易摩擦をはじめとする海外経済の不確実性の高まりにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした経済情勢の中で、当社グループは国内需要にとどまらず海外での需要に積極的に対処できる体制の整備・充実を図るとともに、新製品、新技術の開発による新規顧客の獲得や競争力強化のためのコスト低減等に取り組み、需要の掘り起こしに注力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は3,952百万円(前年同四半期比2.1%増)、売上高は3,786百万円(前年同四半期比20.4%増)となりました。損益については、営業利益106百万円(前年同四半期は営業損失20百万円)、経常利益126百万円(前年同四半期は経常損失1百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2百万円)となりました。

今後におきましては、景気へのリスク要因である貿易摩擦問題や中国経済の成長の鈍化による株式や為替への不安要素が多い状況であります。IoTやAIによる技術革新の進展による設備の更新投資等が期待でき、積極的な提案営業により受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、二次電池、アルミ建材等の業界を中心に自動車関連、電子業界等でも様々な仕様にお応えし、受注の確保に取り組んでまいりました。また、汎用電源では、通信機能搭載により多台数の注文にもお応えできるよう取り組んでまいりました。その結果、受注高は1,167百万円(前年同四半期比14.4%減)、売上高は1,390百万円(前年同四半期比41.1%増)となりました。

今後につきましては、高効率の電力変換を実現した新型直流電源装置の市場への投入及び通信機能搭載機のラインアップ拡充に取り組み、多様な市場のニーズに応えるべく、電源機器のシェア拡大を目指してまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、国内の既存設備の更新需要の掘り起こしと稼働中の装置の改造や修理メンテナンス案件に対して積極的に取り組んでまいりました。その結果、受注高は1,420百万円(前年同四半期比9.9%増)、売上高は1,201百万円(前年同四半期比21.7%増)となりました。

今後につきましては、積極的な技術提案により新規・更新需要の掘り起こしと、IoT技術を活用した予防保全のシステムであるCCCS-M(中央コンピュータコントロールシステムーメンテナンスの商品名)の提案を推進し、受注・売上の確保に鋭意努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、国内自動車関連業界、鋼製家具業界など内需型産業における需要の掘り起こしに注力し、新規設備投資・増産需要に対して積極的に取り組んでまいりました。一方、海外につきましては海外代理店との連携を密にして電子部品業界を中心とした積極的な拡販に努めてまいりました。その結果、受注高は655百万円(前年同四半期比7.9%増)、売上高は727百万円(前年同四半期比9.9%増)となりました。

今後につきましては、新規市場投入した新型溶接電流計、新型インバータ溶接電源の営業活動に注力し、国内外を問わず市場開拓に努めてまいります。

(環境機器)

環境機器につきましては、表面処理装置に付帯する機器として、販売に取り組んでまいりました。その結果、受注高は192百万円(前年同四半期比10.6%減)、売上高は186百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

今後につきましては、更なるコストダウンの取り組みとともに海外市場における液管理装置や超音波洗浄器の販路開拓に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し4,198百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し986百万円となりました。これは、主として投資その他の資産が106百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し5,185百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し2,447百万円となりました。これは、主として前受金等の減少によりその他が29百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し550百万円となりました。これは主として退職給付に係る負債が8百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し2,998百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し2,187百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初の予想の範囲内であるため2018年9月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,519,069	1,112,614
受取手形及び売掛金	1,243,156	1,356,069
電子記録債権	467,309	455,580
商品及び製品	58,460	66,379
仕掛品	762,544	929,737
原材料及び貯蔵品	96,925	143,248
その他	49,606	135,707
貸倒引当金	△700	△500
流動資産合計	4,196,371	4,198,838
固定資産		
有形固定資産	278,568	282,309
無形固定資産	5,539	39,062
投資その他の資産	772,006	665,261
固定資産合計	1,056,114	986,632
資産合計	5,252,486	5,185,470
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,266,720	1,271,045
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	27,308	-
その他	465,437	436,217
流動負債合計	2,499,467	2,447,262
固定負債		
役員退職慰労引当金	116,500	112,340
退職給付に係る負債	374,460	365,971
その他	78,895	72,523
固定負債合計	569,855	550,835
負債合計	3,069,323	2,998,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,235,103	1,314,606
自己株式	△15,349	△15,524
株主資本合計	1,948,339	2,027,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,355	152,379
為替換算調整勘定	8,468	7,325
その他の包括利益累計額合計	234,823	159,704
純資産合計	2,183,163	2,187,372
負債純資産合計	5,252,486	5,185,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	3,146,139	3,786,517
売上原価	2,378,460	2,884,705
売上総利益	767,678	901,811
販売費及び一般管理費	788,339	795,058
営業利益又は営業損失(△)	△20,660	106,752
営業外収益		
受取利息	445	463
受取配当金	6,884	7,652
持分法による投資利益	13,836	7,427
為替差益	-	574
その他	3,089	8,416
営業外収益合計	24,256	24,534
営業外費用		
支払利息	4,181	4,309
為替差損	101	-
その他	380	507
営業外費用合計	4,663	4,816
経常利益又は経常損失(△)	△1,067	126,470
特別利益		
固定資産売却益	9	8
特別利益合計	9	8
特別損失		
固定資産処分損	164	996
特別損失合計	164	996
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,221	125,481
法人税、住民税及び事業税	1,393	1,393
法人税等調整額	-	25,234
法人税等合計	1,393	26,627
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,615	98,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,615	98,853

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,615	98,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,763	△73,975
為替換算調整勘定	206	△1,143
その他の包括利益合計	51,970	△75,118
四半期包括利益	49,354	23,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,354	23,734
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	1,417,905	9.6
表面処理装置	1,220,444	7.4
電気溶接機	719,741	19.5
環境機器	165,952	△24.9
その他	486,767	29.2
合計	4,010,812	10.5

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	1,167,996	△14.4	476,429	△40.6
表面処理装置	1,420,413	9.9	1,009,673	6.6
電気溶接機	655,322	7.9	128,417	△16.3
環境機器	192,610	△10.6	52,293	△16.1
その他	515,744	31.2	406,517	198.2
合計	3,952,087	2.1	2,073,332	△1.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	1,390,504	41.1
表面処理装置	1,201,503	21.7
電気溶接機	727,772	9.9
環境機器	186,888	△2.4
その他	279,849	△12.3
合計	3,786,517	20.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。